

基本的方向2 子ども・若者の社会形成・社会参加支援

施策の主な対象	学童期～思春期、施策によっては青年期も含む
---------	-----------------------

子ども・若者が、社会に積極的に関わり、よりよい社会を共に創りあげていく力を身につけることができるよう、様々な社会体験や社会参加活動を促進するとともに、子ども・若者の意見の表明、交流機会の確保や意思決定過程への参加の推進に取り組みます。さらに、社会情勢の大きな変化、多様化に対応した教育の充実により、社会に貢献できる力を育成するなど、子ども・若者の社会形成・社会参加を支援します。

施策の方向3 社会的自立に向けた支援と社会参加の推進

① 勤労観・職業観の育成

- 社会的自立に向け、幼児期から小・中・高等学校を通じた計画的・系統的なキャリア教育の推進
- 地域企業等との連携のもと、職場見学や体験、中長期に及ぶインターンシップの実施

② 社会体験、社会参加の促進

- 伝統文化を継承し、地域社会の発展を担う人材の育成
- 家庭や地域、企業・事業所等が連携・協働し、キャリア教育や子どもたちの様々な体験・学習活動を社会全体で支援する取組みの推進
- ジュニア・リーダー活動、青少年ボランティア活動の活性化に向けた取組みの推進
- 子ども・若者の意見の表明、交流機会の確保や意思決定過程への参加の推進

施策の方向4 社会の変化に対応し社会に貢献できる力の育成

① 変化に対応する実践的な力の育成

- 経済社会のグローバル化への対応とICTを活用した教育活動の推進
- グローバルな視点を持ち、地域産業の振興を担う人材の育成
- 環境の保全・創造・活用への理解を深めるための家庭、学校、地域等幅広い場における環境教育の推進

Column 「子ども知事室」の取組み

県では、やまがたの未来を担う子どもたちが、知事と直接話をする機会を得ることにより、県政や県の事業に関心を持ち、ふるさと“やまがた”を理解する一助とするために、「子ども知事室」を実施しています。

県内の小学校5・6年生を対象に参加者を募集し、抽選で選ばれた児童が参加します。事業の中では、知事からの「一日知事」の辞令交付、県の仕事などについての懇談のほか、県の関連施設の見学などを行っています。

知事との懇談の時間では、例年、「知事になろうと思ったきっかけは何ですか?」「山形の魅力をもっとPRするにはどうすればいいですか?」など、次々と質問が上がり、知事と県内の小学生が意見を交換する貴重な場となっています。

